

意見書・決議

●視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書
：可決

携帯用ラジオでテレビ放送が聴けるようにすること。視覚障がい者のテレビの使いやすさを最大限考慮すること。テレビ放送における情報バリアをなくすことを政府に求めるもの。

〔提出者〕

染谷議員ほか3人

〔討論〕

林議員：8月31日の衆参両院において、視覚障害者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビへの移行に關する請願が全会一致で採択されている。賛成。

●取手市名誉市民の称号を贈ることを求める決議：可決

木内幸男氏は、取手第二高校及び常総学院高校の野球部監督時代に甲子園で優勝するなど、その功績は市民の郷土の誇りである。よって、取手市名誉市民の称号を贈るよう市長に求めることを決議するもの。

〔提出者〕

中村議員ほか6人

〔討論〕

入江議員：全国各地に行く

と、取手という取手二高、茨城という木内幸男監督という名前が必ず出てくる。木内幸男氏を名誉市民にすることは大賛成。

結城議員：今回の一般質問で、取手二高物語か木内監督物語の映画作成を提案した。木内元監督が名誉市民になれば、取手市のイメージアップの一つのアプローチになる。賛成。

貫井議員：本郷の住民としても大歓迎だ。私が提案した利根運河の広瀬誠一郎、俳人高野素十、軽部烏頭子、文化勲章の武藤清、東大教授赤塚忠、法曹界野村佐太郎、公正取引委員長高橋俊英等の郷土出身の文化人も今後検討を求め、賛成。

●取手駅北C街区事業提案公募区域内の公有地売却の中止を求める決議：否決

C街区事業提案公募は、事業者が既に決まっていたとしか思えない。また、公募期間が短く、他の業者が参画する余地がなく許し難い。今回の事業提案公募は市民を欺く行為。よって、事業提案公募区域内の公有地売却の中止を市長に強く求めることを決議するもの。

〔提出者〕

齊藤（勝）議員ほか3人

〔討論〕

平議員：取手駅前の事業は、政権が代わるごとに政争の

具にされてきた。チャンスがあるときに、足を引っ張ってつぶしてしまうか、一生懸命陰ながら支えて成功させるか。反対。

倉持議員：関東に鳴り響いた名医が、西口の再生のために一肌脱ぎたいという。こういう人たちの自由な発想で市を活性化するという大きな心が持てない議員がいることが残念。反対。

加増議員：ウエルネス・タウン構想を進めるために手段を選ばない市長の姿勢が浮き彫り。暴走に歯止めをかけ、こうした事態を許さない議会の機能と議員の資質が問われている。賛成。

朝比奈議員：故意に地価が安く鑑定されるよう導いたと思われても仕方がないのではないか。市民の信頼を著しく損なう可能性がある不透明なC街区公募事業は中止すべき。賛成。

●取手駅北C街区事業提案公募区域内の公有地の不動産再鑑定を求める決議：否決

取手駅北C街区事業提案公募区域内の公有地の鑑定評価は、到底納得できるものではない。その価値を充分認識できるように条件等をさらに加え、複数鑑定士による再鑑定を強く求めることを決議するもの。

〔提出者〕

小泉議員ほか1人

〔討論〕

小嶋議員：鑑定は国家資格の不動産鑑定士が行ったことで、再鑑定は時間の無駄。取手市や議会の信用にかかわる問題でもある。今必要なのは、スピード感のある行政の執行。反対。

朝比奈議員：市民の貴重な財産を少しでも高く売って、市民に還元をしたいという使命感が私たちにはなくはない。賛成。



取手駅北地区C街区を望む

皆さんの希望です 請願・陳情

●山王小学校の存続に関する請願：不採択

子どもたちが安心して勉強できることはもちろん、地域コミュニティのよりどころとして、山王小学校を統廃合せず単独校としての存続を求めるもの。

〔紹介議員〕

倉持議員

〔討論〕

中村議員：私なりに聞き取り調査等を行い、いろいろな感慨を持った。苦渋の選択の中から、子どもたちにより良い教育環境の充実に求めて反対。

赤羽議員：子どもたちが、高井小学校、六郷小学校と分断されると、地域コミュニティの分断にもなりかねない。数合わせの統合と言わざるを得ない。賛成。

小泉議員：住民と議論をすべき。山王地区の方々の熱い思いは受け止めなければならぬが、子どもたちの教育環境の充実を考えると賛成できない。反対。

倉持議員：10人程度の学校でも子どもを十分育てている。山王小学校廃校の決断は、新たなまちづくりの観点から大きなマイナスになるのではない。賛成。
吉田議員：子どもの将来

の夢をつくってあげるのはい。統廃合に向かっているならば、素晴らしい環境づくりをして子どもに与えるのが我々の役目であり、宿命。反対。

朝比奈議員：アンバランスな男女・学年の構成の中で6年間学校生活を送ることは、子どもに良いとは思えない。多くの子どもたちと一緒に学ぶ場をつくるべきではないか。反対。

小嶋議員：自分の村の学校をなくすなという郷愁感の問題と、通学の問題の大きな2つをクリアすれば、子どもの教育を考えると統合はやむを得ない。反対。

結城議員：断腸の思いだが、子どもたちの将来の教育を考えると反対せざるを得ない。統廃合に当たっては、地域の核となるような形になつてほしい。反対。

遠山議員：地域ぐるみで子どもを育てるといふ願意は地域住民の思い。そこで育つ子どもたちはむしろ幸せと思う。学校は地域の中心であり、要でもある。賛成。

川又議員：クラスに適正規模というのはない。子どもたちには関係ない。伝統ある山王小学校は、取手として存続させるべき。賛成。